

公益財団法人 四万十川財団
TEL 0880-29-0200
FAX 0880-29-0201
Mail office@shimanto.or.jp
URL http://www.shimanto.or.jp



↑遊鶴羽地区の棚田。



↑ガイドの亀澤氏と金谷氏。

■愛媛県松野町 奥内の棚田及び農山村景観

高知県の隣県、愛媛県松野町の「奥内の棚田及び農山村景観」が平成29年2月に重要文化的景観に選定されたことをご存知だろうか。先日、四万十川流域文化的景観連絡協議会では奥内の視察に伺ってきた。

奥内の棚田及び農山村景観は、水田・畑地などの農耕に関する景観地で、年平均気温15℃前後、年間降水量2,200mm程度の湿潤温暖な気候で、500～600m級の急峻な山並みによって閉ざされた空間に展開している。集落の標高は150m前後で、現在24戸約60人が生活し、耕作水田は約14haの規模である。

この場所に棚田が開かれた背景には、豊かな山と豊富な水資源の存在がありそうだ。耕作地の約7～8倍の面積を持つ棚田背後の山は、その

土壌が乾燥した性質のため針葉樹の植樹がそれほど進んでおらず、現在でも天然生広葉樹が5割を占めている。生活燃料である薪や炭、食料、肥料や飼料など様々な恵みを人々に与えてくれた。また、この地は比較的降水量が多く、さらに地下の分水嶺からの流入が見込まれる渓流水の存在など水資源にも恵まれており、奥内の棚田にはため池が設けられていない。このような豊かな山と水資源が人々をここに住まわせ、棚田を開墾させていったものと考えられる。

景観の根幹となる棚田は、地元で採取される石材の組み合わせによって形成されており、特に笑い積みが印象的である。城郭を思わせる「反り」や「輪取り」が導入されていたり、

山津波など過去の災害による巨石利用も見られるなど、こだわりと暮らしが感じられるところが面白い。畔については、畔ぬりの労力を減らすためコンクリートで整備しているとのことで、景観保全と住民の暮らしとの折り合いが上手くつけられているように感じた。

四万十川流域にも棚田は複数あるが、四万十のそれとは大きくちがっていて非常に興味深かった。今後も他の景観の視察を行い、様々な景観の価値を学んでいきたい。



↑奥内の薬師堂。



↑棚田の石積みの中にくさびの跡。



↑視察の様子。



↑城郭のような石積み。



↑算木積み。



↑石碑の裏にくさびの跡。



↑遊鶴羽地区の棚田遠景。

イベント情報

四万十町のあまーいイベント

四万十街道 ひなまつり

甘味寺

お寺で楽しむ
スイーツと音楽と、
幸せ祈願
in 岩本寺

特典
書物でご来場の方に
は 100円の
お菓子も
プレゼントを
差し上げます！

和菓子作り体験
四万十町の和菓子屋「松葉屋」が伝授する春を味した和菓子を作ろう！
参加費：1200円
定員：10人(要予約)
時間：13時~14時30分(約1時間30分)

春の音楽会
女性ミュージシャンを中心とした音楽会、バラエティに富んだ演奏者が楽しい音色を奏でます。
時間：10時~12時30分
場所：岩本寺直轄
観覧料：無料

四万十手仕事市
スイーツや食品、雑貨など、丁寧に心を込めて作られた手づくり雑貨やスイーツが自慢の四万十手仕事市も同時開催されます。
時間：9時30分~15時
場所：岩本寺境内

開催日：3月11日(日)
時間：9時30分開場、10時スタート、15時まで
場所：岩本寺 (四万十町茂串町3-13)

主催・お問合せ：一般社団法人四万十町観光協会
TEL 0880-29-6004
info@shimanto-town.net
協力：四万十手仕事市

■四万十街道ひなまつり 甘味寺

先月ご案内した四万十街道ひなまつり。四万十町では岩本寺にて「お寺で楽しむスイーツと音楽と幸せ祈願」をテーマに甘味寺を開催します。和菓子作りに音楽会、野点や懸想文体験など。丁寧に心をこめて作られた手づくり雑貨やスイーツが自慢の四万十手仕事市も同時開催されます。日本の伝統行事ひなまつりを由緒ある岩本寺で。春の訪れをしっかりと感じて過ごしてみませんか。

- 【開催日】平成30年3月11日(日)
- 【時間】9時30分開場、10時スタート15時まで
- 【場所】岩本寺
高知県高岡郡四万十町茂串町3-13
- 【主催】一般社団法人四万十町観光協会
TEL 0880-29-6004
Email info@shimanto-town.net